

会 議 記 録				
会 議 の 名 称		広報広聴会議		会議場所 第3委員会室 担当職員 鈴木 智
日 時		令和元年12月9日(月曜日)	開 議	午前 10時 30 分
			閉 議	午前 10時 59 分
出席委員		◎小川 ○三上(広報部会長) ○赤坂(広聴部会長) 富谷 大塚 並河 木村 松山 奥野		
事務局出席者		山内事務局長、井上次長、船越副課長、鈴木議事調査係長、山末主査、山内主事		
傍聴	可	市民0名	報道関係者0名	議員0名(-)

会 議 の 概 要

10:30

[小川委員長 開議]

[事務局長 日程説明]

1 広聴部会活動

(1) わがまちトーク（自治会版）に係る意見、要望について

[赤坂副委員長 説明]

・11月20日に西別院町自治会で開催した、わがまちトーク（自治会版）での意見等の内容について確認いただきたい。

<三上副委員長>

No.1の当日の回答内容では「亀岡市の管理する土地については亀岡市が対応するが、そのほかの場所については民間同士での話し合いでお願いしたい。今回の案件については、所有者である相手方の会社が解散している状況なので、どうしようもないと思う。」となっているが、「亀岡市の管理する土地以外の場所については民間同士での話し合いになるのだが、今回の案件については、所有者である相手方の会社が解散している状況なので、難しいと思う。」としてはどうか。

<赤坂副委員長>

そのようにするがよいか。

—全員了—

<松山委員>

No.5の当日の回答内容では「亀岡市も検討を始めているのではないかと考えている。」となっているが、市として検討を始めているのであれば、「亀岡市も検討を始めている。」としてはどうか。

<赤坂副委員長>

当日は、詳細がわからなかったなので、そのような回答になったと思う。

<三上副委員長>

「亀岡市も検討を始めているのではないか。」としてはどうか。

<小川委員長>

回答した個人の考えであるので、そのような回答になっていると思う。

<赤坂副委員長>

「亀岡市も検討を始めているのではないか。」とするがよいか。

—全員了—

<小川委員長>

文章を以上のように修正する。所管はすべて産業建設常任委員会である。取り扱いについて、よろしく願いたい。

(2) わがまちトーク（自治会版）の実施について

[赤坂副委員長 説明]

・千代川町自治会から、来年2月8日にわがまちトーク（自治会版）の開催希望がある。テーマは「活気のある千代川町の街づくりについて」である。その詳細については、事前に小川委員長と打ち合わせに行った結果、①たわわ朝霧や道の駅のようなスペースづくり②通学路の安全対策③千代川町の保津川下り乗船場の3項目で調整した。

・わがまちトーク（自治会版）には、50人程度来られる。対面式ではなくテーブルを3つ設置し、時間を決めて参加者が地元議員も含めた議員と話し合えるようにしたい。そして、最終的には常任委員が返答するように考えている。西別院町のわがまちトーク（自治会版）で話をされたのは数人であったので、できるだけ参加者と話をしたいと考えている。今後、配置図を作成する等、各委員にもお知らせしたい。

<松山委員>

参加した皆さんが話しやすい雰囲気づくりに努めるべきであり、そのように進めていただきたい。

<小川委員長>

今回は趣向を凝らし、参加者と膝を交えて意見交換できるよう、広聴部会から提案されたものである。

<三上副委員長>

それでよいと思う。これまでは、回答しなければならないので、そのための準備をしてきた。1グループの人数が少ない方が、参加者全員が話をできる機会があると思う。3つの常任委員会があるが、3グループに分ける必要はないと思う。以前、研修に行った際に、ファシリテーターを入れて、意見交換されている議会があるという話があった。それを実施するに際しては3つの約束がある。1つ目としては、「1人が長く話さない。」ということであった。これは、逆に言うと皆が発言できるということである。2つ目は「初めから否定しない。どの意見も尊重する。」ということである。3つ目は「難しく考えず、楽しめるようにする。」ということである。これは、行って楽しかったと言える努力をするということである。この3つのルールを紙に書いて張りつけて、意見交換を実施されている。色々な考え方があがるが、参加者にまちづくりの主体者としてがんばろうという気になってもらうことを狙いに行っている。議員に何かをお願いして、答えるという形にはしないことで、参加者がこの取り組みにまた参加してみたいという気になるものである。抜本的に変えていくのであれば、このようなことも検討していけばよいと考える。

<小川委員長>

そのようなことも考えていく。次回も常任委員会から2人選出いただくことで願いたい。

<並河委員>

千代川町は人口がふえてきている。通学路や乗船場のこともあると思うが、たわわ朝霧のようなスペースの構想はあるのか。

<小川委員長>

自治会長と、そのようなことができたらいということでも話をしていたものである。
千代川町の乗船場については、京都府の事業としてこれから進められることとなる。

<赤坂副委員長>

はじめての取り組みとなるので、細かく考えて情報提供していきたいと考えている。
できるだけ楽しいわがまちトークにしていきたい。

<小川委員長>

できるだけグループで意見交換できるようにしていきたいと考えている。

<赤坂副委員長>

広報広聴会議の役割分担は、前回と同じでよいか。

<富谷委員>

前回の受付は事務局にやってもらった。マイク担当は奥野委員であったが、そのままよいか。

<小川委員長>

前回の西別院町でのわがまちトークの役割分担と同様に実施していきたい。多少は変更になるかもしれないが、了承いただきたい。

<松山委員>

現時点で、来年のわがまちトークの希望はあるのか。

<赤坂副委員長>

今のところはない。来年は、できれば子ども議会か中学生議会を開催したいと考えている。

2 その他 (なし)

散会 10:59